

クビキリギスが やって来た!!



綾町からやって来た「クビキリギス」
キャベツの上で、ハイチーズ!

5月22日のこと。常連のお客様、星野様が虫かごを持ってまほろばにいらした。「今から自分の畑に逃がしてあげるの」と、見せて頂いたのがこの「クビキリギス」。なんと、1月にまほろばで買われた宮崎県綾町の白菜の中から出てきて、カワイイからと今までご自宅で飼っていらしたのだ。暖かくなり、「外の世界に逃がしてやるのがこの子の為」と、畑に向かう途中での訪問だった。思わず写真を一枚! まほろばへのお手紙も頂戴した。

まほろばさまへ
 安心な野菜を届けて下さり、
 ありがとうございます。
 一月にお店で買った白菜一つ、
 自宅に帰えり、一枚一枚
 葉をはがしていたところ
 三枚目のところから、何と
 ピョン・元気にバツタが
 飛んできてました。



その時の驚きと感動は!!
 何せ虫好きなの私と家族不すから...
 外は雪のため、しばらく虫かごの中...
 住むことになったバツタの名前は、調べた
 ところ、「首きりやす」というそうです。
 夜中の十二時になると、かん高い声で鳴く
 バツタは、一月から五月の末まで五元気
 で生きています。
 せむせむのたくま、姿を見ていただきたく
 思いました。
 星野 静子

クビキリギスとは...

バッタ目キリギリス科の昆虫。緑色または褐色で、頭頂が著しく尖った大きなキリギリス。口の周囲が赤い。指に噛みつくと離さず、無理に引っ張ると首が抜けるのでこの名がついたという説も...。平地の草原や水田の土手などで見られる。秋に成虫になって冬を越し、翌年の初夏まで生きる。



手乗りクビキリギス
とっても可愛い!